

令和6年2月度

ネットパトロール記録

概要（傾向・事例等）

青少年がネットで犯罪等に巻き込まれたニュースで、大麻などの薬物との関係が報じられることがあります。ネットパトロールでも大麻を話題にした県内青少年の投稿を発見することは珍しくありません。使用をしていなくても、大麻を含む薬物は青少年にとっては遠い世界の話ではないようです。背景として「大麻は安全」、「海外では解禁されている」といった情報がネットに多く見られることがある、とされています。

しかし「解禁（合法化）されている」のは、「限定的な地域」であり、「大麻が安全だからではない」ことには触れられることは少ないようです。合法化の理由は「犯罪組織による流通を防ぐ」、「合法化により流通を管理」とされています。大麻の使用者が多いための苦肉の策と言えるものであり、大麻が安全だからではありません。

青少年の関心が増える中、「大麻 OK」の論調は耳目を集め、投稿者の利益（儲け）につながりやすくなります。大麻合法化を推進したいのではなく、利益になるからネットに投稿している、という側面があります。「悪貨は良貨を駆逐する」という言葉がありますが、誰でも意見や記事を手軽に発表できるということは、価値の裏付けの少ない悪貨の流通が増えることに少し似ています。また、人間だけではなく生成 AI もそれを見て（学習して）しまうことにも留意願います。

今月のおねがい

～ サービス利用開始時には内容確認を ～



ネットには発信者自身の意見もあれば、トレンドに付和雷同するものもあります。

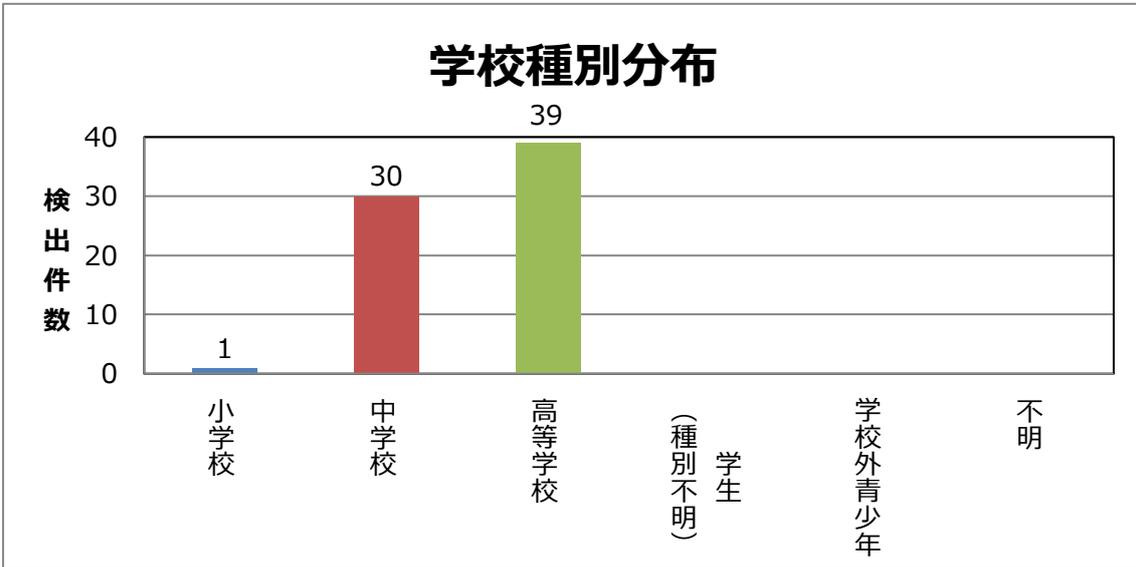
青少年が多くの考えや意見に触れること自体は好ましいことと思います。青少年が接している情報に注意を払い、「その情報には異論もあるよ」と、他の意見にも目を向けるように促してみてください。

検出件数

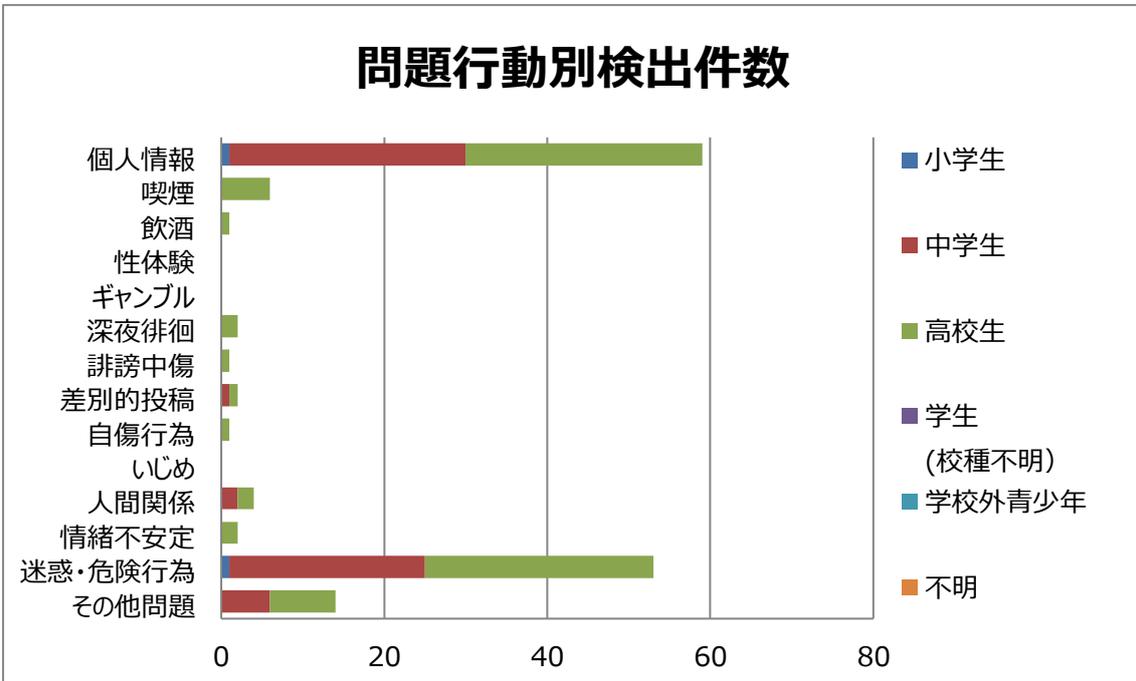
1月の検出件数は **70** 件でした。



学校種別検出件数

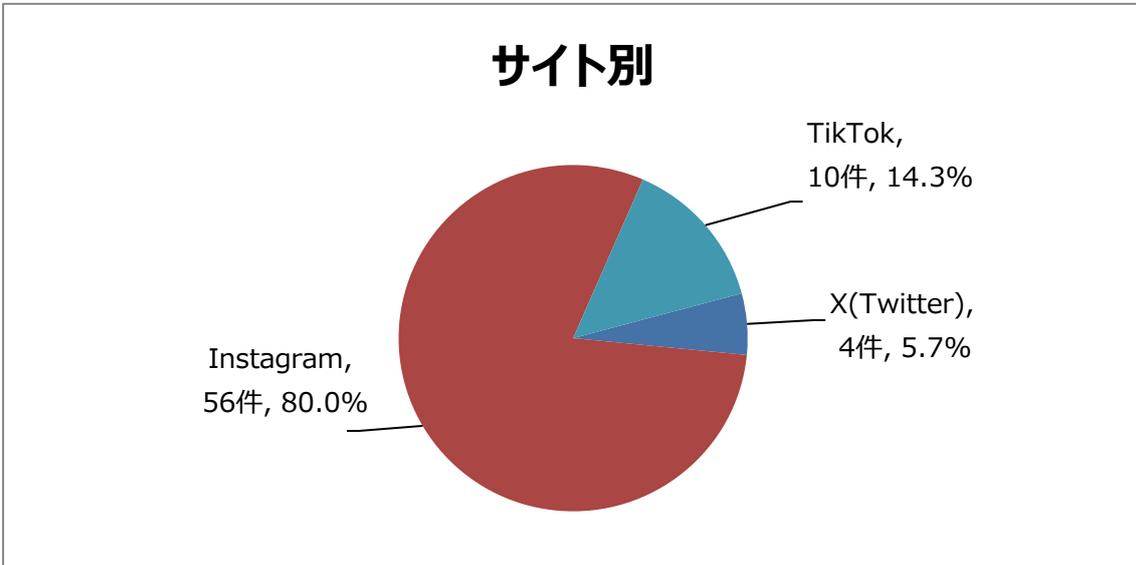


問題行動別検出件数





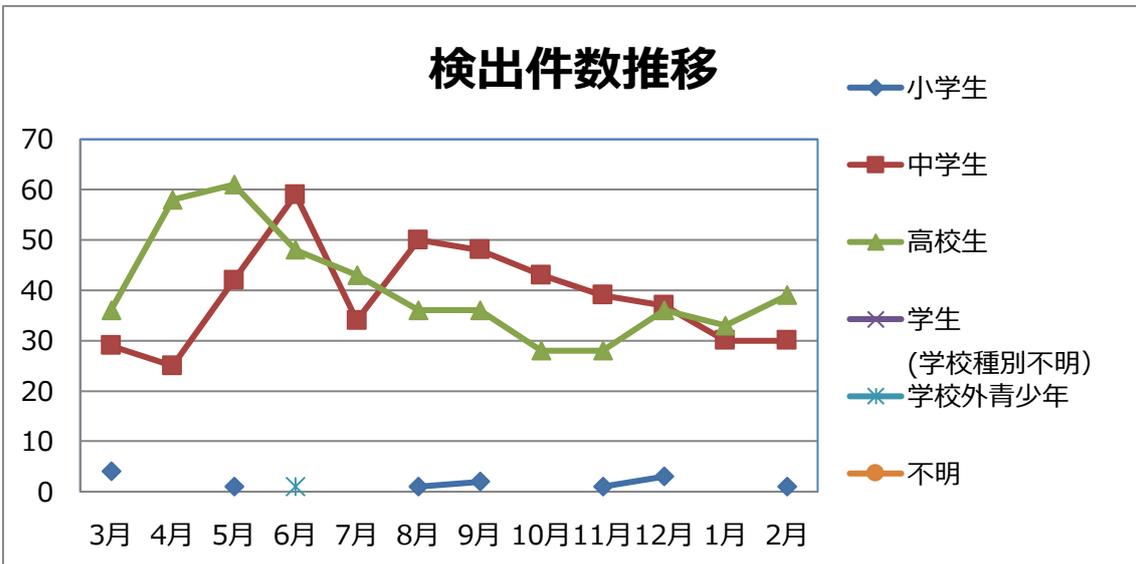
サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



検出数推移



以上